学校番号	１０８

令和２年度　英語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
英語	英語表現	2	第３学年	Vision Quest English Expression Ⅱ Ace Next Stage 4th Edition Winning Sprit(桐原書店)

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・英語表現の授業は、「話すこと」、「書くこと」、「聞くこと」、「読むこと」という４技能の力をつける授業です。そのため、聞いたり読んだりしたことを基に情報や考えなどについて話したり書いたりする言語活動を多く行います。授業では積極的に活動に参加しましょう。

・英語の語彙や文法については、実際のコミュニケーションでどのように使われるか、ということを意識して学習することが大切です。常に「英語を使う」ということを意識して学習しましょう。

・音読は外国語学習の中でとても大切な練習の一つです。英語のリズムやイントネーションに気をつけ、聞いている人にきちんと伝わるような音読を心がけましょう。

2 学習の到達目標（CAN-DO リストによる当該学年の４技能の到達目標）

【第３学年】履修科目：「英語表現」（２単位）「骨太英語」（２単位）
「創造英語」（２単位）「異文化理解」（2 単位）
主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

話すこと		書くこと		聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目･評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目･評価
・論点の明らかな英文を読み、また、話された英文を聞いて、それぞれのポイントを捉えて、その概要を簡潔に話すことができる。	骨太英語 定期考査 英語表現 定期考査 異文化理解 定期考査	・興味のある社会的なトピックに関して、読んだり聞いたりした内容の要点を文章で書くことができる。	骨太英語 定期考査 英語表現 定期考査 異文化理解 定期考査	・自然な速さで話される観光地での説明やガイドなどのアナウンスを聞いて大切なポイントをもらさず概要を把握することができる。	骨太英語 定期考査 英語表現 定期考査 異文化理解 定期考査	・まとまりのある英文を後戻りすることなく一定時間内に読み、各段落のトピック、サポート、例示、詳細などを抑えながら、全体の用紙を理解することができる。	骨太英語 定期考査 英語表現 定期考査 異文化理解 定期考査

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識理解
実施方法	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとしているかを的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「話すこと」と「書くこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	CAN-DO リストによる「聞くこと」と「読むこと」の到達目標を的確に評価できる方法で実施。	英語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解しているかどうかを的確に評価できる方法で実施。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４ 学習の活動

単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson11 （７時間） Lesson 12 （７時間）	世界遺産というテーマを通して表現の幅を広げる。 ボランティア活動について考えながら、自分の意見をまとめる。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ボランティア活動について考え、最後はその内容を essay にまとめる。	・これまでのボランティア活動について、自分の体験を英語でクラスメートと共有する。	・積極的にコミュニケーションを図っているか、という観点から評価する。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・ボランティア活動に関する自分の意見をまとめる。	・ワークシートを利用して、クラスメートの体験を書き留める。	・テーマに沿って適切に書くことができる。	・essay を提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・助動詞を適切に使えるようになる。	・本文中で用いられている意味や用法を確認する。	・essay の中でそれらの文法事項を適切に用いることができている。	・定期考査で、与えられたテーマに沿って、適切な essay が書ける。
Lesson13 （７時間） Lesson14 （７時間） Lesson15 （７時間） Lesson16 （７時間）	校則について考えを essay にまとめる 外国の魅力についての考えを essay にまとめる 自分の思い出を essay にまとめる。 自分の興味のある科学技術について essay をまとめる。	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペアワークにおいて、決められたテーマに沿って会話を続け、最後はその内容を essay にまとめる。	・自分の感想や意見を伝えるために、ワークシートを活用できる。	・多様な表現を用いて、最後まであきらめずに自分の意見を聞き手に伝える。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・各テーマの中からひとつテーマを選んで、プレゼンの準備に入る。	・難易度の高いテーマでも、自分の意見をまとめられるようにトレーニングする。	・これまでの単元で学んだ表現を活用して、自分の意見を聞き手に伝えることができる。	・プレゼン原稿の内容を評価する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・外国の魅力について自分の言葉で表現できるようになる。	・本文中で用いられている意味や用法を確認し、それらをうまく活用する。	・手段としての英語を活用しながら、自分の意見や主張をしっかりと発信することができる。	・内容・表現・説得力等を総合的に評価する。
Lesson 17 （７時間） Lesson18 （７時間）	便利な tool について意見を essay にまとめる。 自分の好み・嗜好について essay にま	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・自分の意見・嗜好だけではなく、相手の意見や嗜好についてもしっかりと耳を傾け、最後はその内容を essay にまとめる。	・ペアワーク活動を通して、互いの意見や好み・嗜好について語り合う。	・積極的にコミュニケーションを図っているか、相手の話に興味を持とうとしているか、という観点から評価する。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
		・自分の伝えたいことをできるだけ深く伝える。	・ワークシートを利用して、クラスメートの体験や好みなどを聞いて、それを書き留める。	・これまでの単元で学んだ表現を活用して、自分の意見を聞き手にうまく伝える。	・essay を提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。

	とめる。	「言語や文化についての知識・理解」			
		・修飾語・比較表現を適切に使えるようになる。	・本文中で用いられている文法事項を確認する。	・essay の中でそれらの文法事項を適切に用いることができる。	・定期考査で、与えられたテーマに沿って、適切な essay が書ける。
単元 (配当時間)	題材内容	単元の目標	主な学習内容	単元の評価規準	評価方法
Lesson19 （ 7 時間）	思い出深いプレゼントについて考え、その内容を essay にまとめる	「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」			
		・ペアワークにおいて、決められたテーマに沿って会話を続け、最後はその内容を essay にまとめる。	・自分の感想や意見を伝えるために、ワークシートを活用できる。	・多様な表現を用いて、最後まであきらめずに自分の意見を聞き手に伝える。	・ペアでの言語活動を観察する。 ・ワークシートを提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「外国語表現の能力」			
Lesson 20 （ 7 時間）	インターネットの問題点について自分の考えを essay にまとめる。	・自分の伝えたいことをできるだけ深く伝える。	・難易度の高いテーマでも自分の意見をまとめられるようにトレーニングする。	・テーマに沿ってかなりレベルの高い essay を書くことができる。	・essay を提出させ、その内容を取組状況の判断材料として活用する。
		「言語や文化についての知識・理解」			
		・重要な比較表現・否定表現を習得する。	・本文中で用いられている文法事項を確認する。	・essay の中でそれらの文法事項を適切に用いることができる。	・定期考査で、与えられたテーマに沿って、適切な essay が書けているかを判断する。